

キャラクター名

プレイヤー名

ダレダヨーネ二世

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	アルケミスト	Lv.1:	アルケミスト	性別	女
称号クラス				年齢	27歳
種族	フィルボル			境遇	裏切り
出自 (効果)	王侯貴族			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運		
基本値	10	9	9	9	9	13	9	HP	41
ボーナス	3	3	3	3	3	4	3	MP	50
クラス修正	0	2	0	2	1	1	0	フェイト	5
他修正									
能力値	3	5	3	5	4	5	3		

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マスカット	40m	-1	7	0	0	0	-5	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	クロスアーマー					3			
補助	マント					1			
装身具									
	能力値		5	0	3	0	5	7	8
スキル							3		
その他									
	総計(右)		4	7					
	総計(左)				3	5	8	2	8
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数		所持品
トラップ探知	4			4	+ 2 d		MPポーション×4
トラップ解除	5			5	+ 2 d		冒険者セット×1
危険感知	4			4	+ 2 d		
エネミー識別	5			5	+ 2 d		
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d		
魔術判定	5			5	+ 2 d		
呪歌判定					+ d		
錬金術判定	5			5	+ 2 d		
現在重量：	9						
最大重量：	10	所持金：	1340	預金・借金：			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックレジスト	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：作成時に魔法防御力+3								
プロテクション	1	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
クイックヒール	1	5	インシアブプロセス	-	自身	自動成功		
効果：このスキルを使用することで、《ヒール》を同時に使用することができ、行動済にもならない。1シーンに1回使用可能。素早く神に祈りを捧げることで、傷ついた者を回復するスキル。								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術判定		
効果：対象にHP回復を行なう。対象に魔術を使用し、【HP】を[3D+CL×3]点回復する。クリティカル:ダイスロール増加。神の力によって、対象の怪我を瞬時に治療する魔術。								
ガンスミス	1	-	アイテム	-	自身	-		
効果：マスカット(P169)を取得する。このアイテムはあなただけが使用、装備、できる。								
エリクサー	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：ダイスを振って効果を求めるアイテムのみに有効。[種別:ポーション]のアイテムの効果に+1dする。								
レイズ	1	10	Xジャーアクション	20m	単体	魔術判定		
効果：対象が戦闘不能の時に有効、戦闘不能状態から回復させ、2d6回復させる。対象は行動済となる。								
ウェポンファージ	2	8	Xジャーアクション	-	自身	錬金判定		
効果：ダメージ増加を行う。武器攻撃のダメージに+SLdする。スキルを使用するときにダイスロールを行ない、増加する値を決定する。この効果はシーン終了時まで持続する。								
アームズマスタリー:錬金銃	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：錬金銃の命中判定に+1d								
キュア	1	5	メジャー	20m	単体	魔術判定		
効果：対象が受けているパッドステータスをすべて回復する。クリティカル:コスト0神の力によって、対象を解毒したり体調や状態を元に戻す魔術。								
ヒストリー	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：さまざまな国や町の概要、歴史、人物、過去にあった出来事などについて知っているかどうかの【知力】判定に+1Dする。文庫で調べたことがある、あるいは噂話で聞いたことがあるなど、あなたが多くの国や町のことを見聞きしていることを表わすスキル。								
ファーストエイド	1	-	メジャー	至近	単体	器用		
効果：難易度10の【器用】判定を行なう。これに成功すると、戦闘不能となっている対象の戦闘不能を回復し、さらに【HP】を1に回復する。このスキルによって戦闘不能から回復した対象は行動済となる。応急手当を行ったり、意識を取り戻させたりするスキル。								
効果：								
効果：								
効果：								

ダレダヨーネはある、フィルボルの王国の娘として産まれる、2人の兄を持ち、彼女は王女として、産まれた。幼い頃から、勉強に励んでいて、英才教育を施されていた、かなりの勉強好きで、本を読むのが非常に好きだった、兄弟達には、唯一の妹で、女性であったことから、あまり、良い扱いは受けず、それに対してギャンプを感じていたことから、自らを僕と名乗り、髪型もボーイッシュ、にし、男性のように振舞っていた、そんなある時、彼女が20歳になった、ある時、病状の為、王様が死去、新たに、王を継ぐのはどちらだという、話となっていた『どちら』というのは、ダレダヨーネは女性であった為、王にはならない為であった、その為、兄弟である『ルナハウنز』と『チクタス』の2人のどちらが、王を継ぐかという話になったのだ。話し合いの結果、『ルナハウنز』が王位に就くことになった、彼女もその王位に就くことに対して、納得はしたが、昔から自らの事を下に見てきた、長男である為祝福はしなかった。そして、彼が王位に就いてからか、宮廷が少し騒がしくなった、彼は、多くの客人を招くようになったからである。彼女は静かな宮廷が好きだった為か、顔を出すことも少なくなっていた、しかし、兄貴である『チクタス』は、彼女をよく、その客人の失礼のないようにもてなせと、言っていた。無視することもできず、もてなしをするようになるのだが、その内容というのも、あまり良いものではなかった、下世話で外道な貴族と一緒に踊ったり、無理矢理性的な奉仕を強要されたり、扱いが非常にひどく、最低最悪なものだった、これらを王である『ルナハウنز』に伝えても、黙殺されるだけでなく、彼女は徐々に歪んでいく、宮廷に嫌気が刺し、その宮廷を出ようと街に出た、そこで、彼女はもう一つの絶望を知る、自らに対する、嘘っぱちで、信憑性などない、悪い噂が広がっていたのだ、彼女はたしかに、唯一の女性ではあったが、そこまでされるほど蔑まれるのかと、自らが女性であることの恨み、兄弟達への恨みを募らせていった、そんなある日、彼女は『ルナハウنز』にある時、婚約者が決められ、彼と結婚するように言われた、彼女は、せめて、自分の道を貫きたいとこの時は思い、そして、遂に、王国から抜け出した、自らの本名を隠し、逃げ出した王女であることを隠し、自らを死んだ亡き父を継ぐかのように、二世と名乗って。